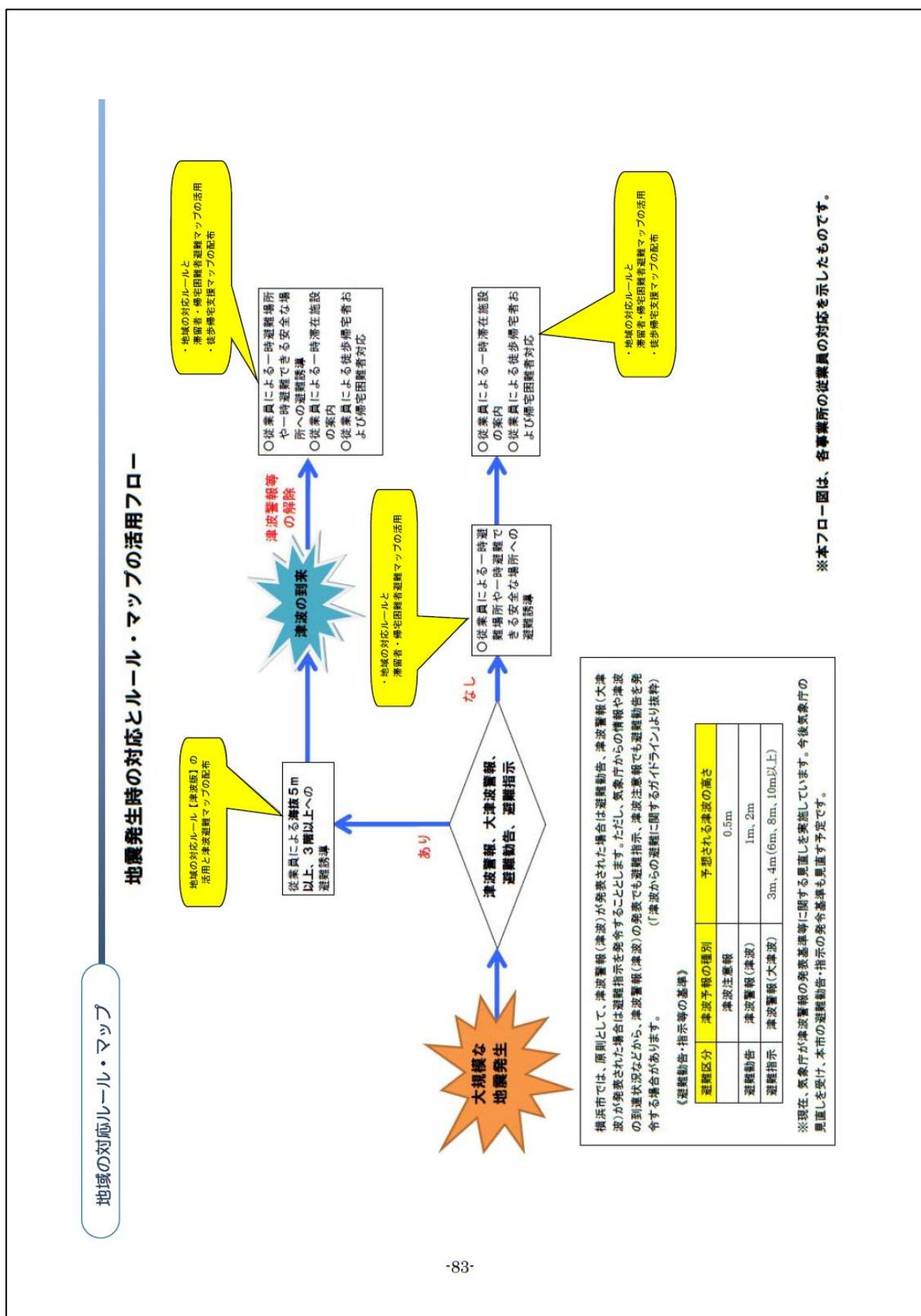


■ 參考資料

・地域の対応ルール・マップ



参考資料：「エキサイトよこはままちづくりガイドライン」（平成 24 年度改定・平成 30 年 4 月一部追加・修正、エキサイトよこはま 22 ガイドライン検討会）

・地域の対応ルール

○地域の対応ルール

「地域の対応ルール」

ルールの位置づけ

本ルールは大震災発生時のある被害想定に基づいた「横浜駅周辺地区の事業者及び鉄道事業者」以下「事業所等」というの「心構えを示したものである。実際の被害状況は様々であり、またその状況は刻一刻と変化するため、本ルールを原則としつつも、実際の状況に則して臨機応変な対応が必要となる。本ルールは、各事業所等における事業継続計画（BCP）や防災計画を作成する際の参考とし、風水害その他の災害により、鉄道が運行停止し横浜駅周辺の混雑が予想される場合にも、本ルールを準用する。

ルールの位置づけ

被害想定

- 地震の種類 大規模地震（津波警報等・避難勧告等が無い場合）
- 市域内の震度 『震度強～7』
- 横浜駅周辺の状況
○ 海岸等での水害、及びその後の土砂災害は発生しない。
○ 交通などの公共交通機関は停止
○ 駅周辺の基础设施などの被害は比較的小ない。
○ 電気・ガス・水道は、暫時に遮断
○ 一般の携帯電話は繋絡のため、じきに通話不可能となる

基本的な考え方

1 平常時からの準備及び普及啓発の実施
災害時は、個人や組織で助け合う「自助・共助」の考え方方が基本
(※「事業継続計画（BCP）」の策定が重要)

2 適切な情報提供による混乱防止対策の強化

- (1)「せいやみに行動を開始しない」という基本原則の徹底
- (2)情報提供ツールの拡充
- (3)行政と周辺事業者の連携強化

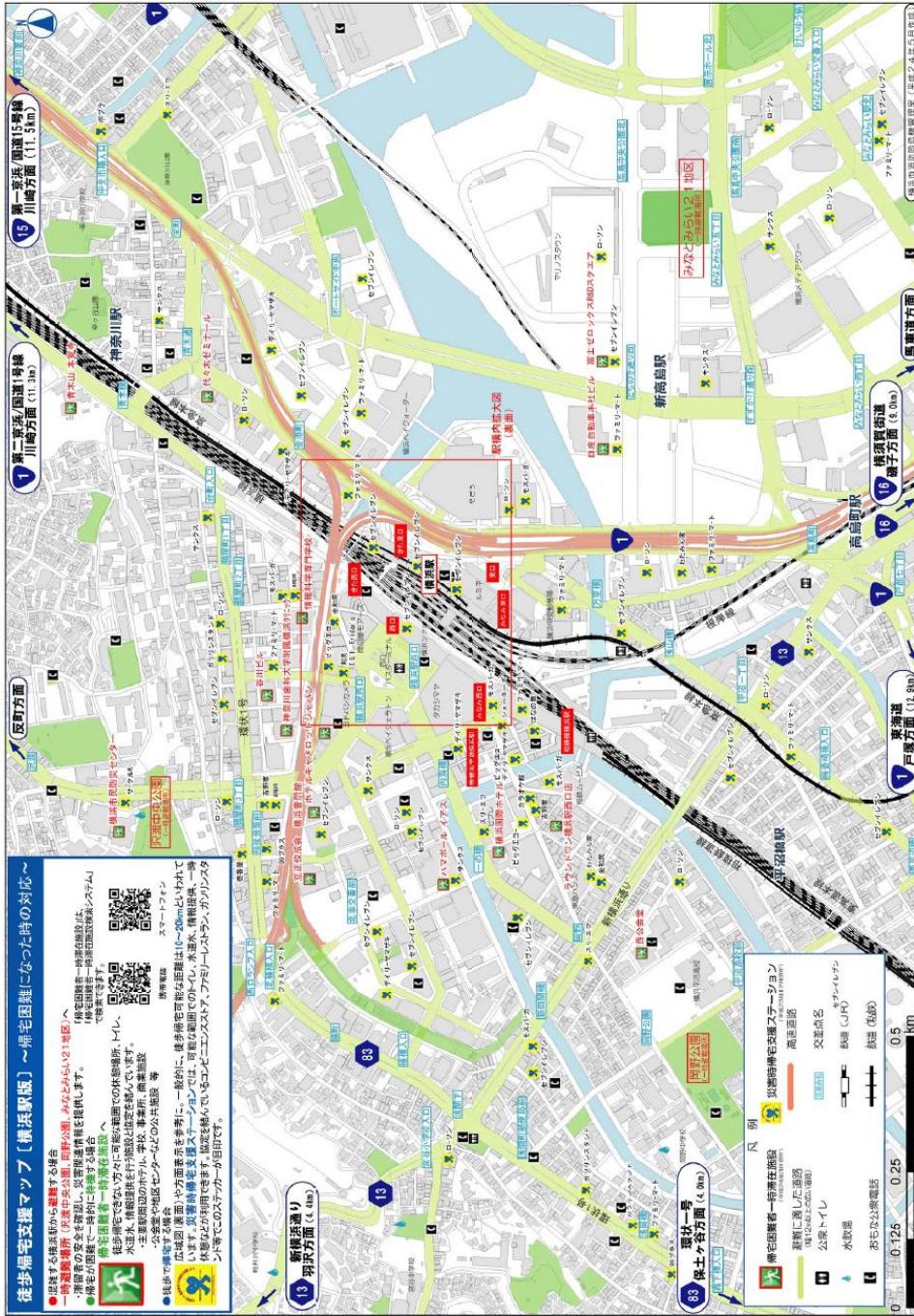
3 民間と行政の役割分担と連携・協力体制の構築

帰宅支援の実施にあたっては、横浜駅周辺地区の事業所、鉄道事業者、警察、横浜市（消防も含む）および個人が協協力し、それぞれの役割分担を明確化するとともに、連携・協力体制を構築

- 4 来街者等への協力呼びかけ
来街者等への協力を呼びかけ、自助・共助のもと、来街者、事業者等が一體となって災害対応を行なう

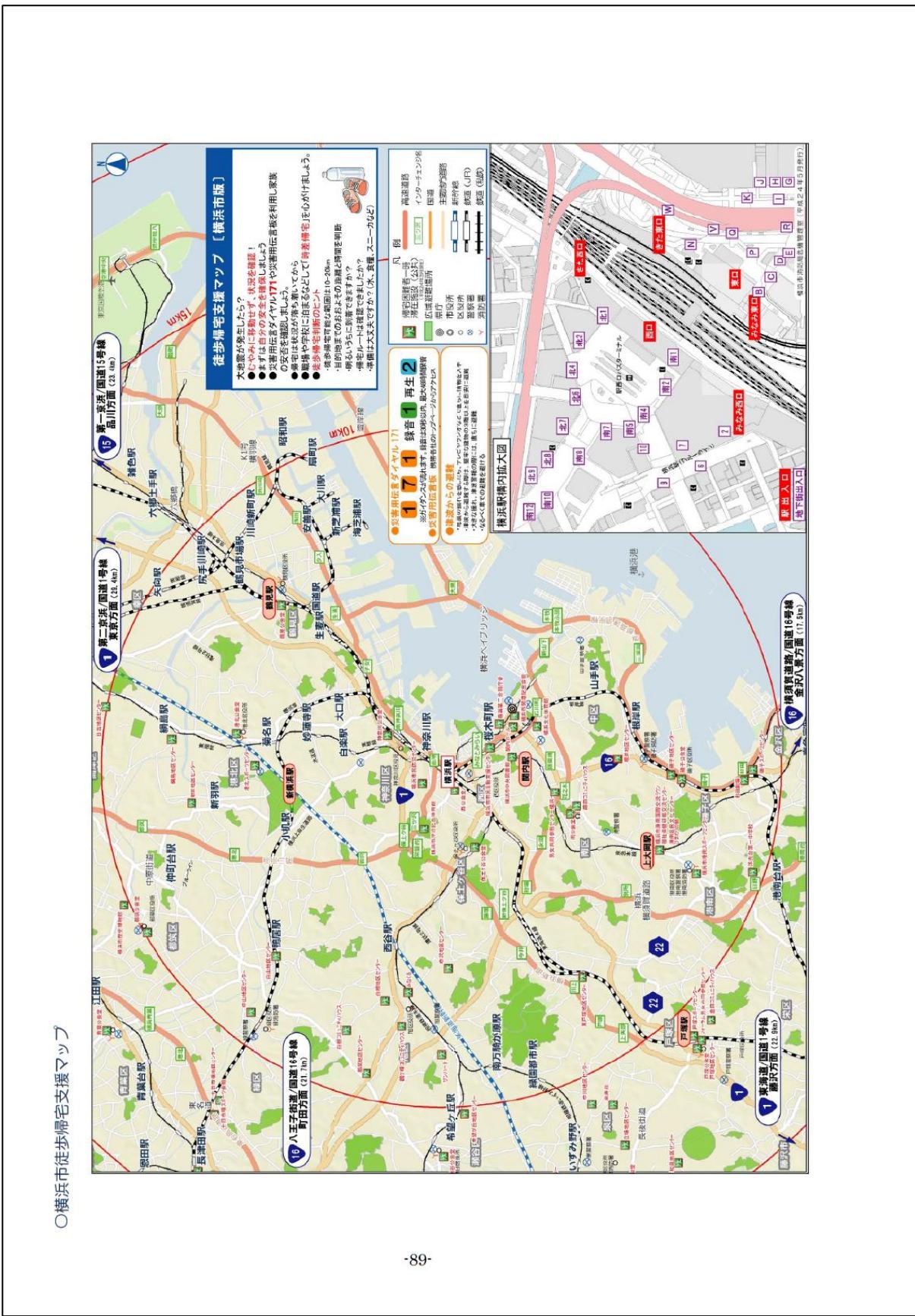
・横浜市徒歩帰宅支援マップ【横浜駅版】

○横浜市徒歩帰宅支援マップ【横浜駅版】



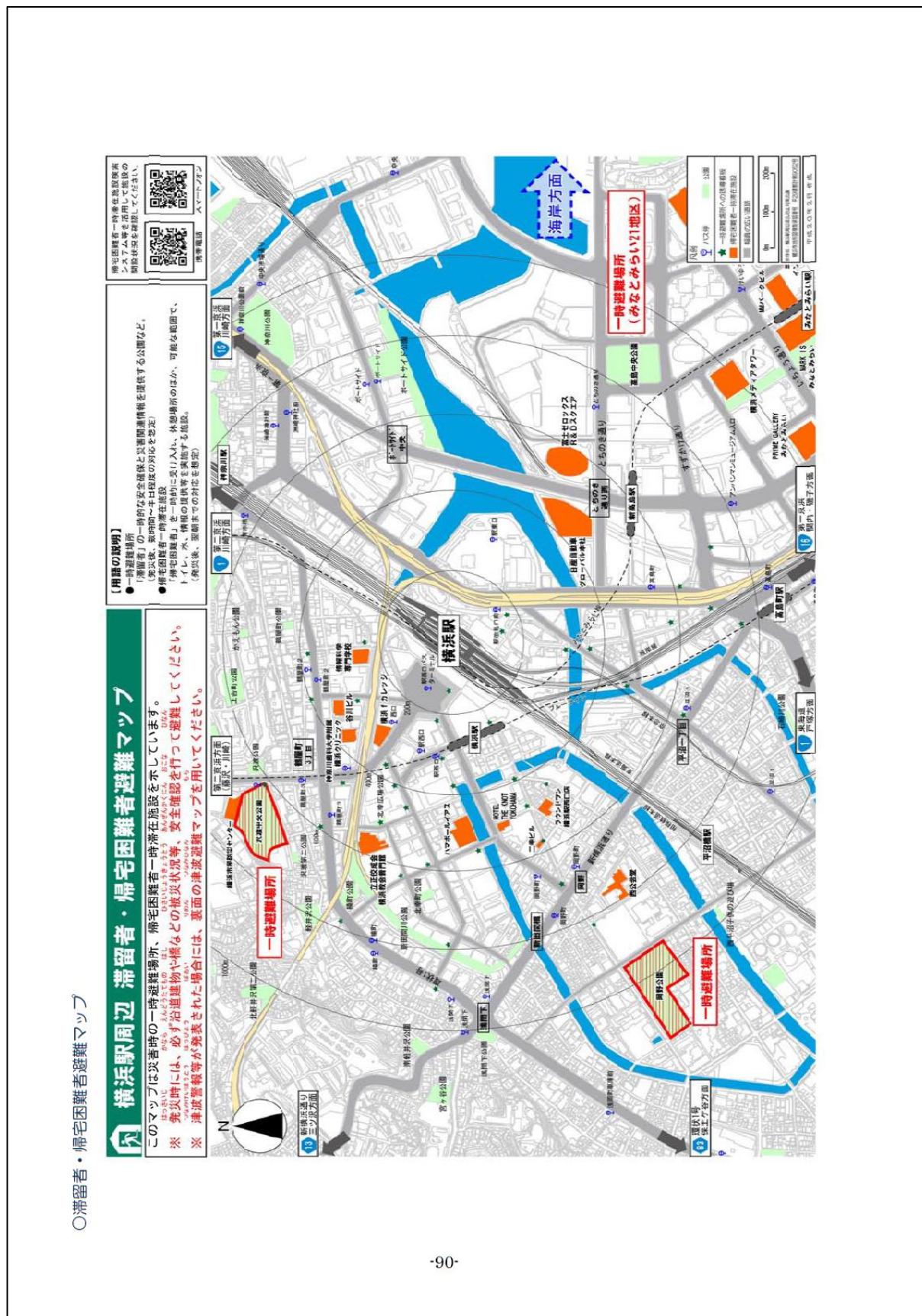
参考資料：「エキサイトよこはままちづくりガイドライン」（平成 24 年度改定・平成 30 年 4 月一部追加・修正、エキサイトよこはま 22 ガイドライン検討会）

・横浜市徒歩帰宅支援マップ



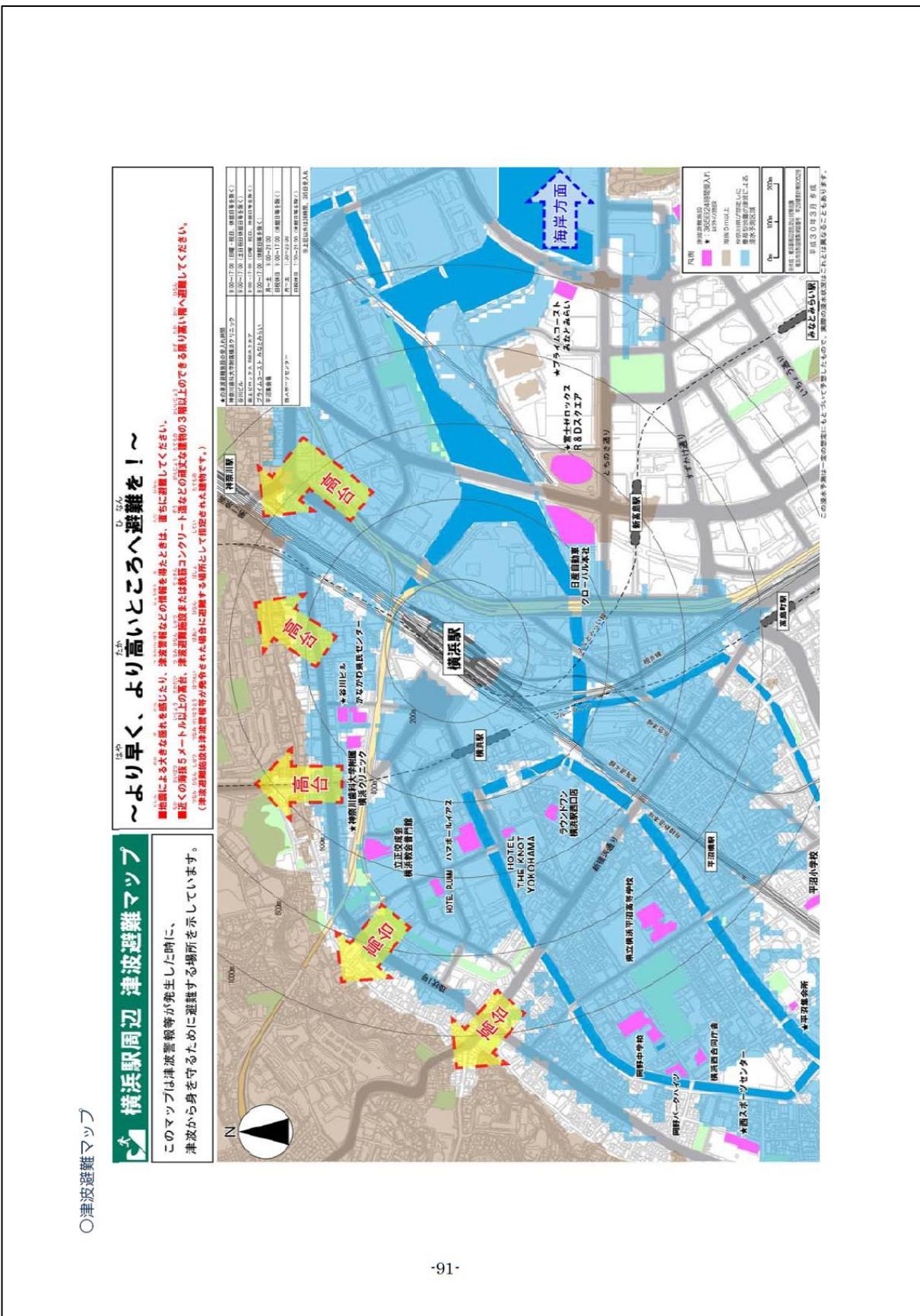
参考資料：「エキサイトよこはままちづくりガイドライン」（平成 24 年度改定・平成 30 年 4 月一部追加・修正、エキサイトよこはま 22 ガイドライン検討会）

・滞留者・帰宅困難者避難マップ



参考資料：「エキサイトよこはまちづくりガイドライン」(平成24年度改定・平成30年4月一部追加・修正、エキサイトよこはま22ガイドライン検討会)

・津波避難マップ

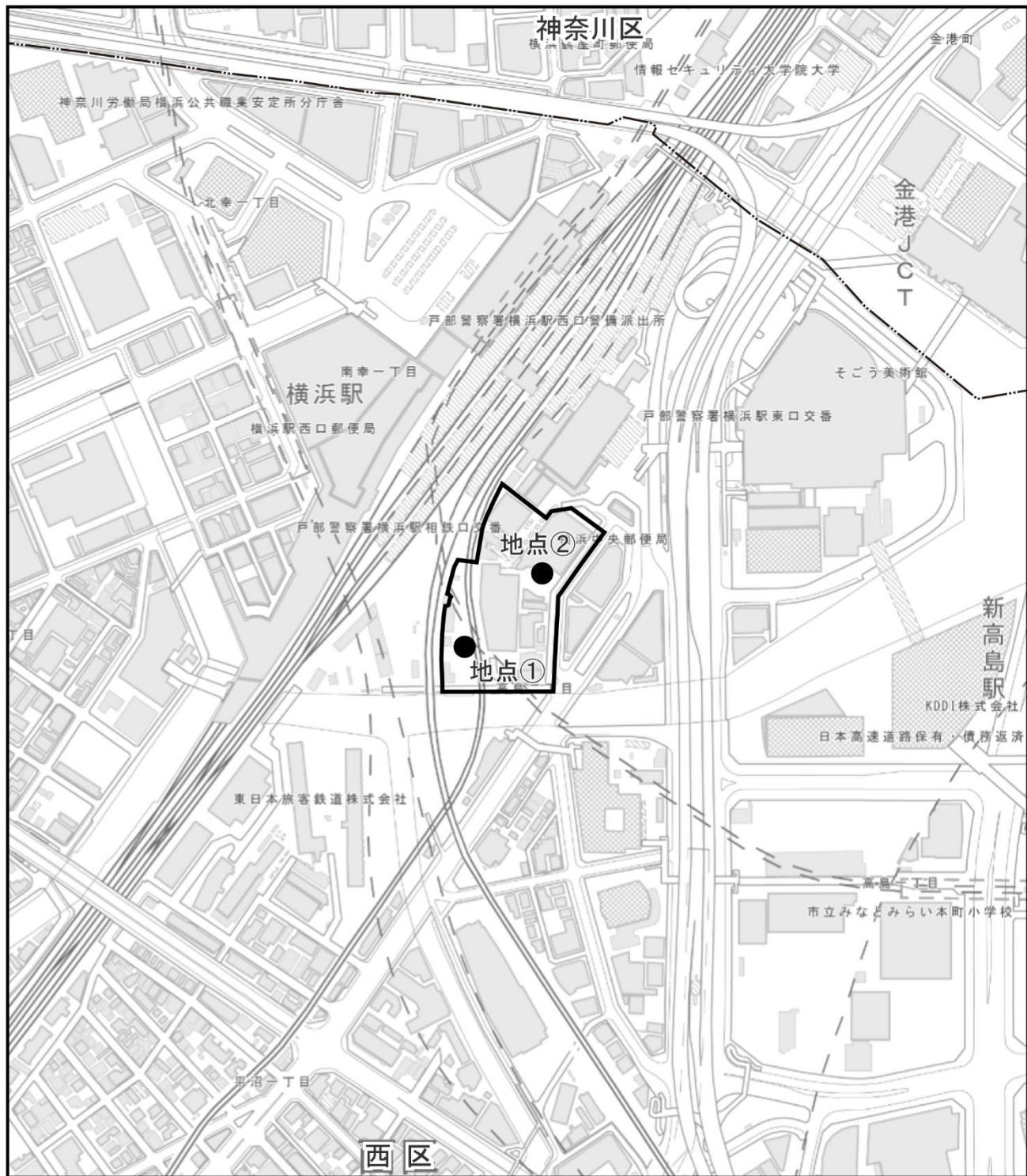


参考資料：「エキサイトよこはままちづくりガイドライン」（平成 24 年度改定・平成 30 年 4 月一部追加・修正、エキサイトよこはま 22 ガイドライン検討会）

3. 既存ボーリング調査関連

3.1 対象事業実施区域内の既存ボーリング調査

対象事業実施区域内の既存ボーリング調査地点は図1(1)に、土質ボーリング柱状図は図1(2)～(5)に示すとおりです。



この地図は国土地理院ウェブサイト（令和6年8月時点、電子地形図（タイル）標準地図）を使用して作成したものです。

凡 例

対象事業実施区域
——— 区界

● 測定地点（地点①～地点②）

N

S = 1/5,000

A scale bar with markings at 0, 50, 100, and 150 meters. The 50m mark is explicitly labeled, while the 0, 100, and 150m marks are implied by the start and end of the bar.

図1(1) 対象事業実施区域内の地質調査地点(既存資料調査地点)

ボーリング柱状図

調查名

ボーリングNo. | | | | | | | |

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置		北緯
発注機関	調査期間		平成 29年 11月 6日 ~ 29年 11月 21日
調査業者名	主任技師	現場代理人	コア鑑定者
孔口標高 +2.23m	TP 角 度 180° 上 90° 下 0° 北 西 東 南 方位 地盤勾配 鉛直 水平 0° 鉛直 90° 0° 180°	試錐機 エンジン	YBM-05 ハンマー落下用具
総掘進長 60.00m		NFD-9F	ポンブ カノV6-P

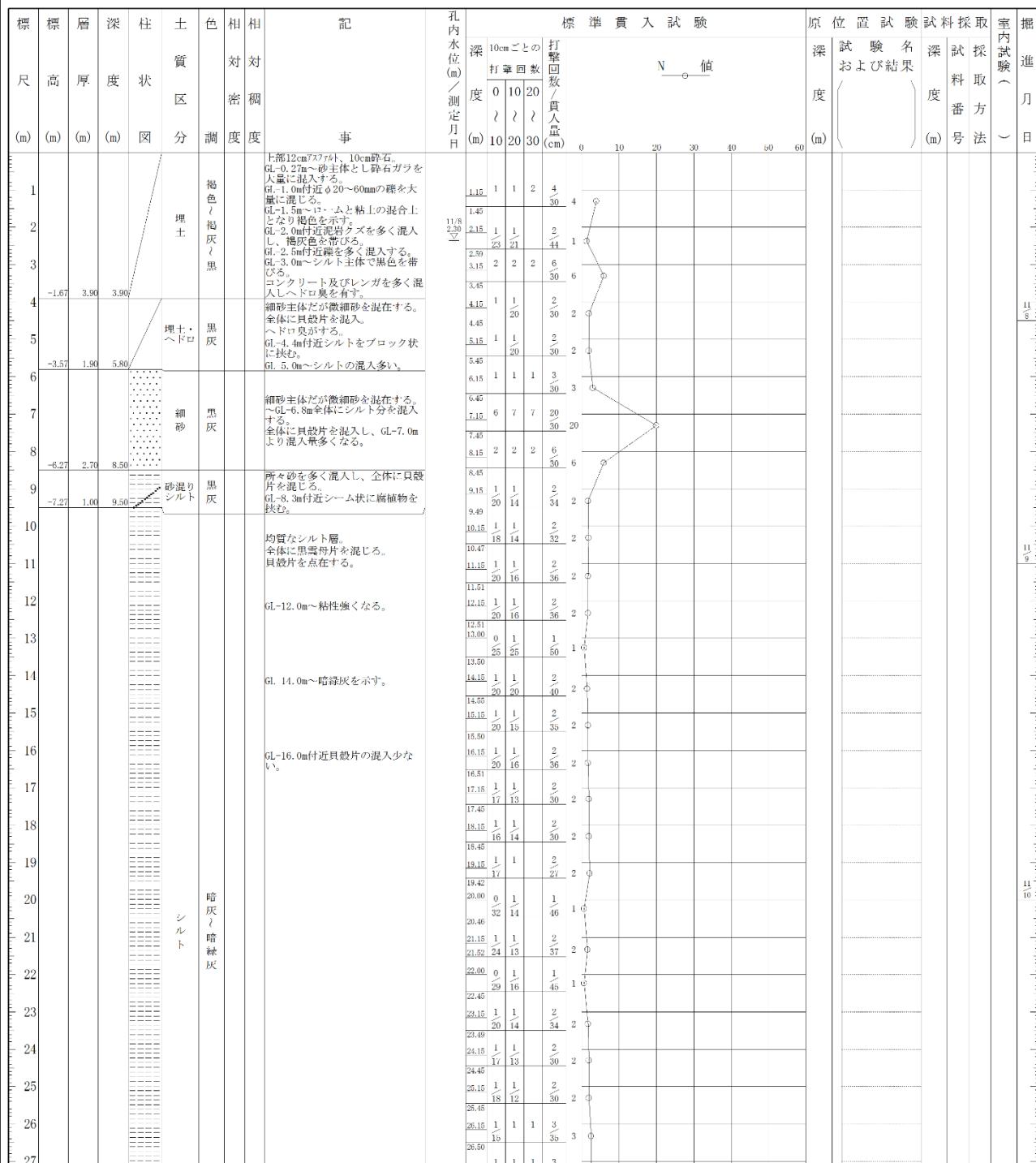


図1(2) 土質ボーリング柱状図(地点①)

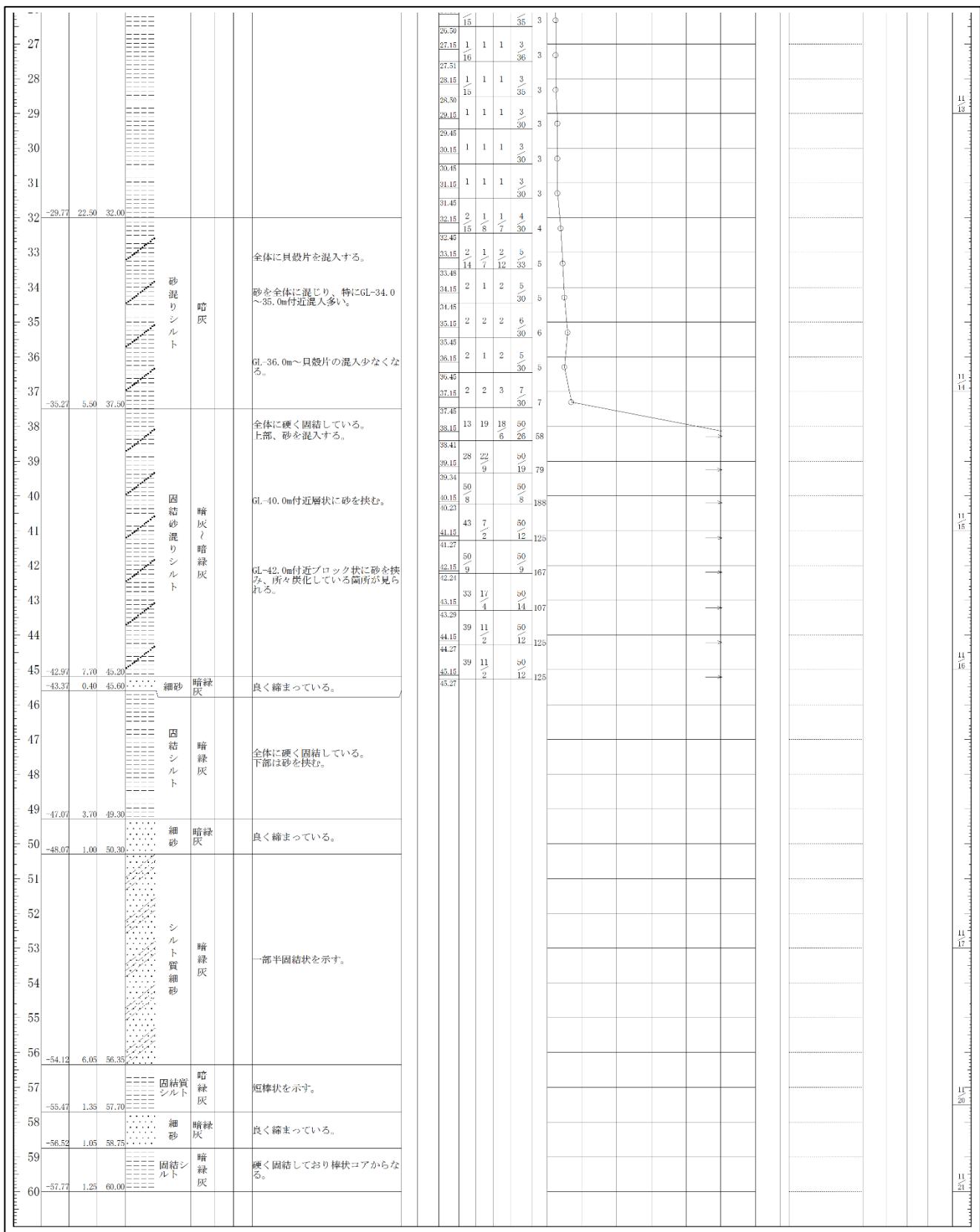


図1(3) 土質ボーリング柱状図 (地点①)

ボーリング柱状図

調查名

ボーリングNo. |

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置		北 緯			
発注機関			調査期間	平成 29年 11月 29日 ~ 29年 12月 8日 東 緯		
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔 口 標 高 +1.67m	TP 角 度	180° 北 上 90° 下 0° 下 向 向 0° 北 90° 西 180° 南 東	地盤勾配 試錐機 エンジン	Y B M - 0 5 N F D - 9 F	ハンマー 落下用具 ポンプ	半自動落下 カノV6-P
総掘進長 65.00m						

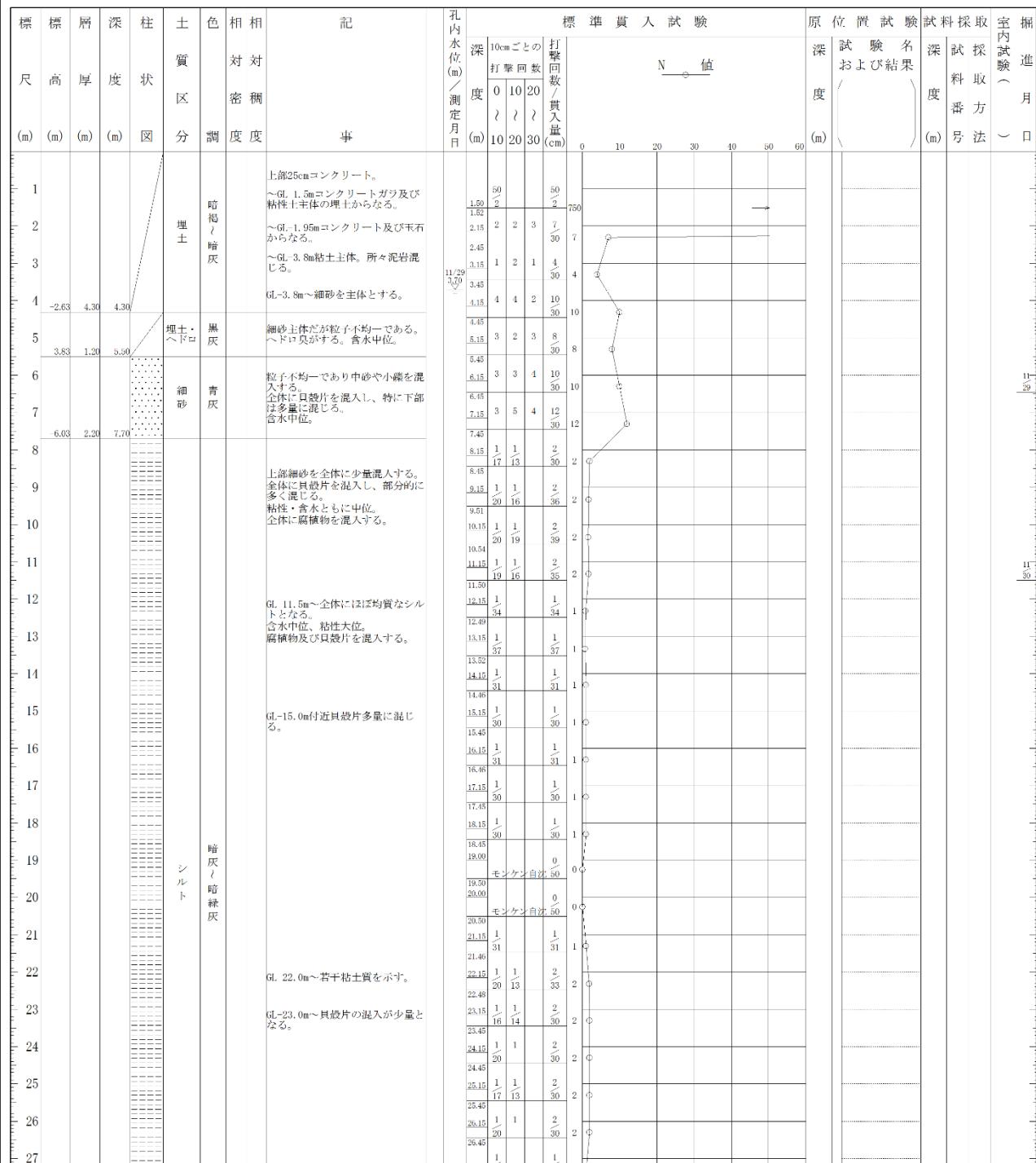


図 1(4) 土質ボーリング柱状図（地点②）

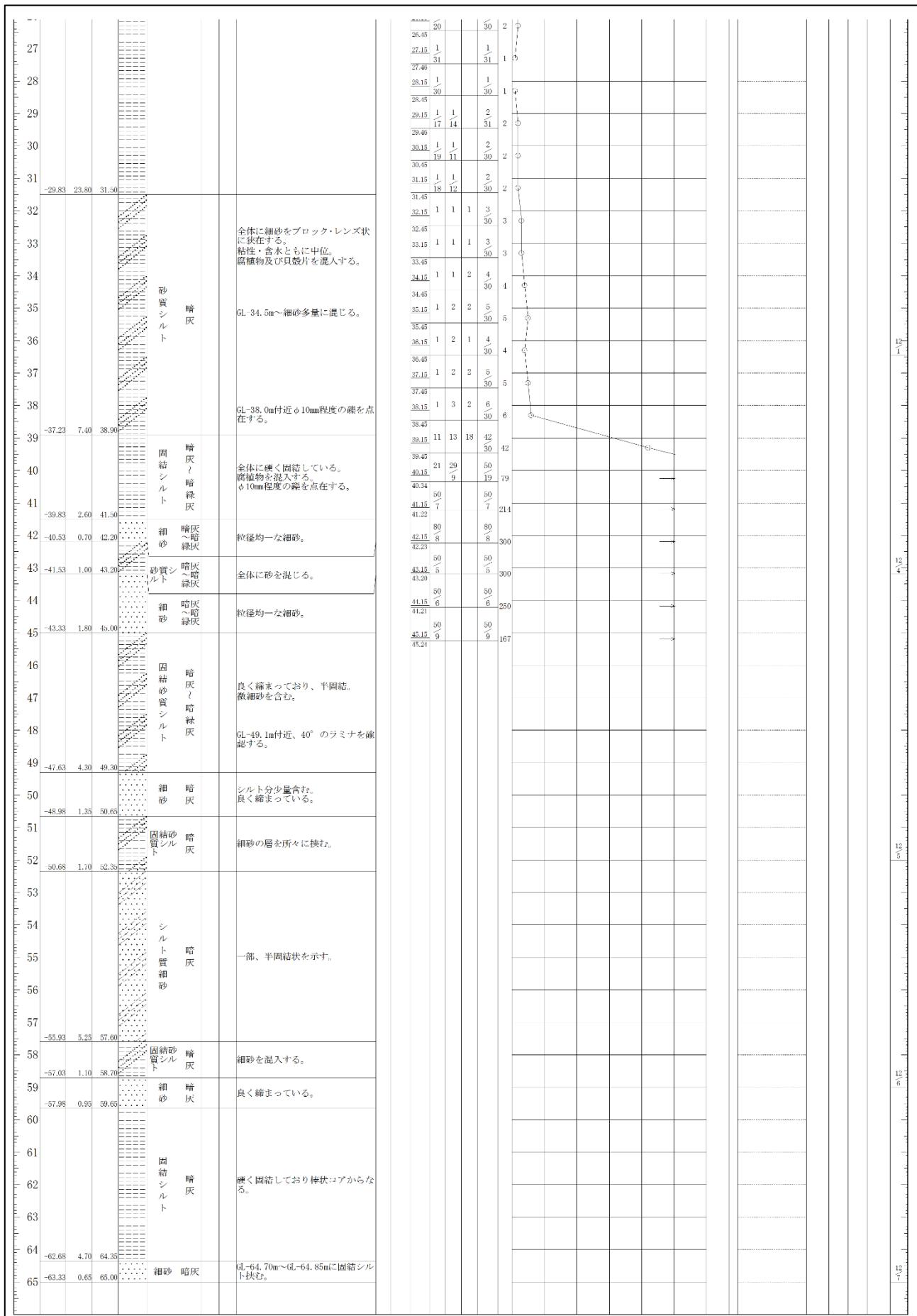
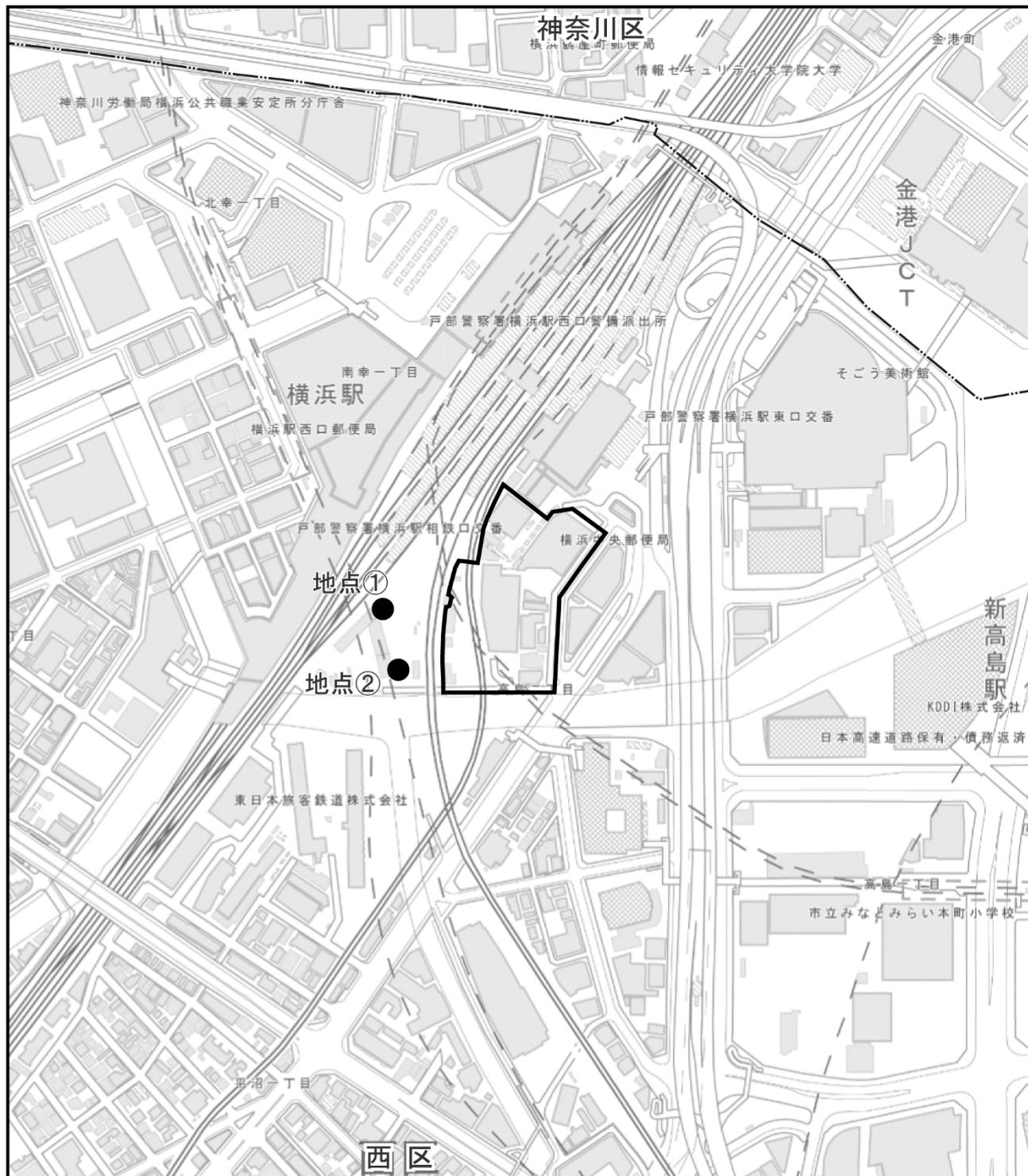


図 1(5) 土質ボーリング柱状図 (地点②)

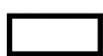
3.2 対象事業実施区域周辺の既存ボーリング調査

対象事業実施区域周辺の既存ボーリング調査地点は図 2(1)に、土質ボーリング柱状図は図 2(2)～(5)に示すとおりです。



この地図は国土地理院ウェブサイト(令和6年8月時点、電子地形図(タイル)標準地図)を使用して作成したものです。

凡 例



対象事業実施区域



測定地点 (地点①～地点②)



区界

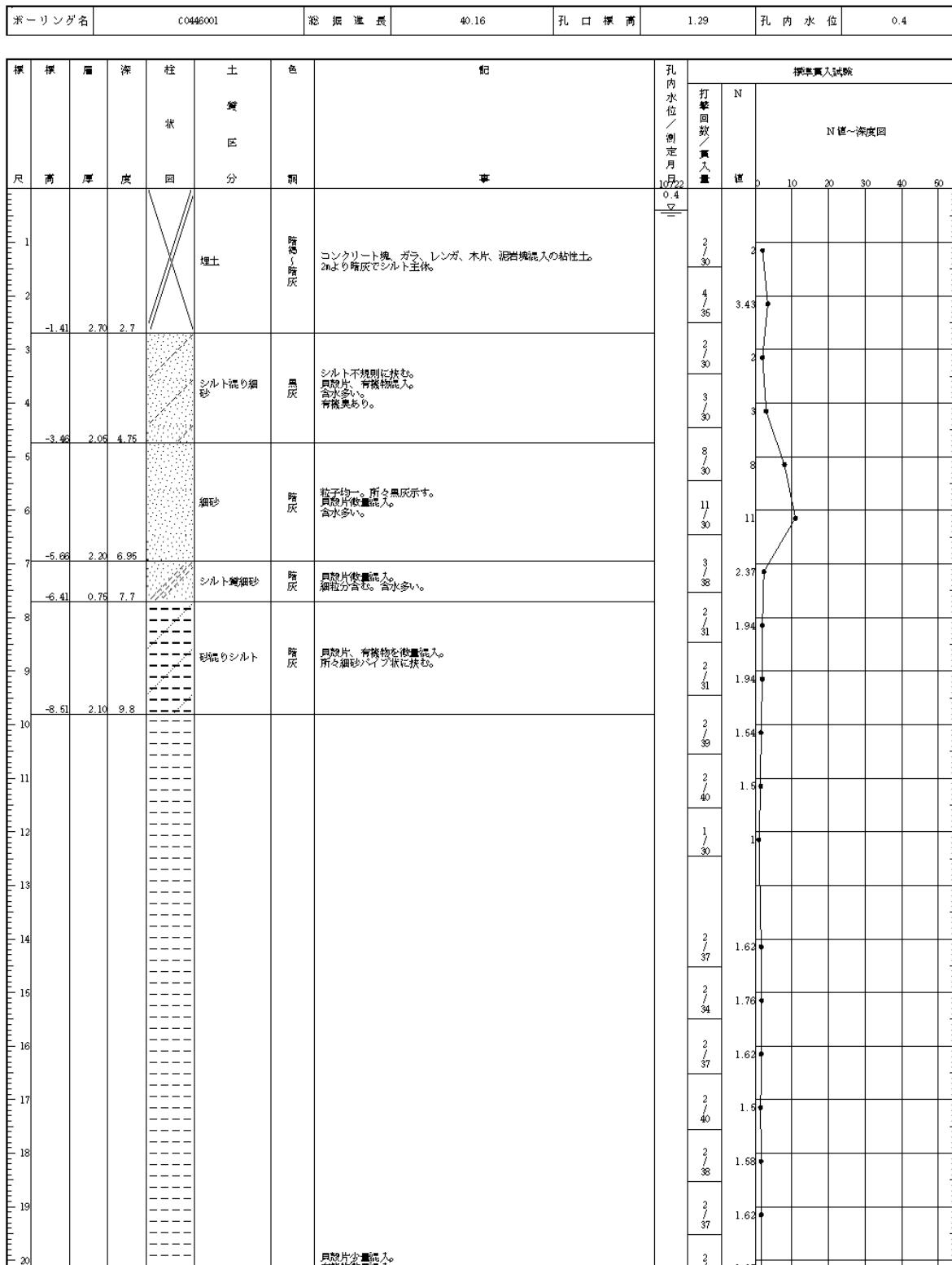


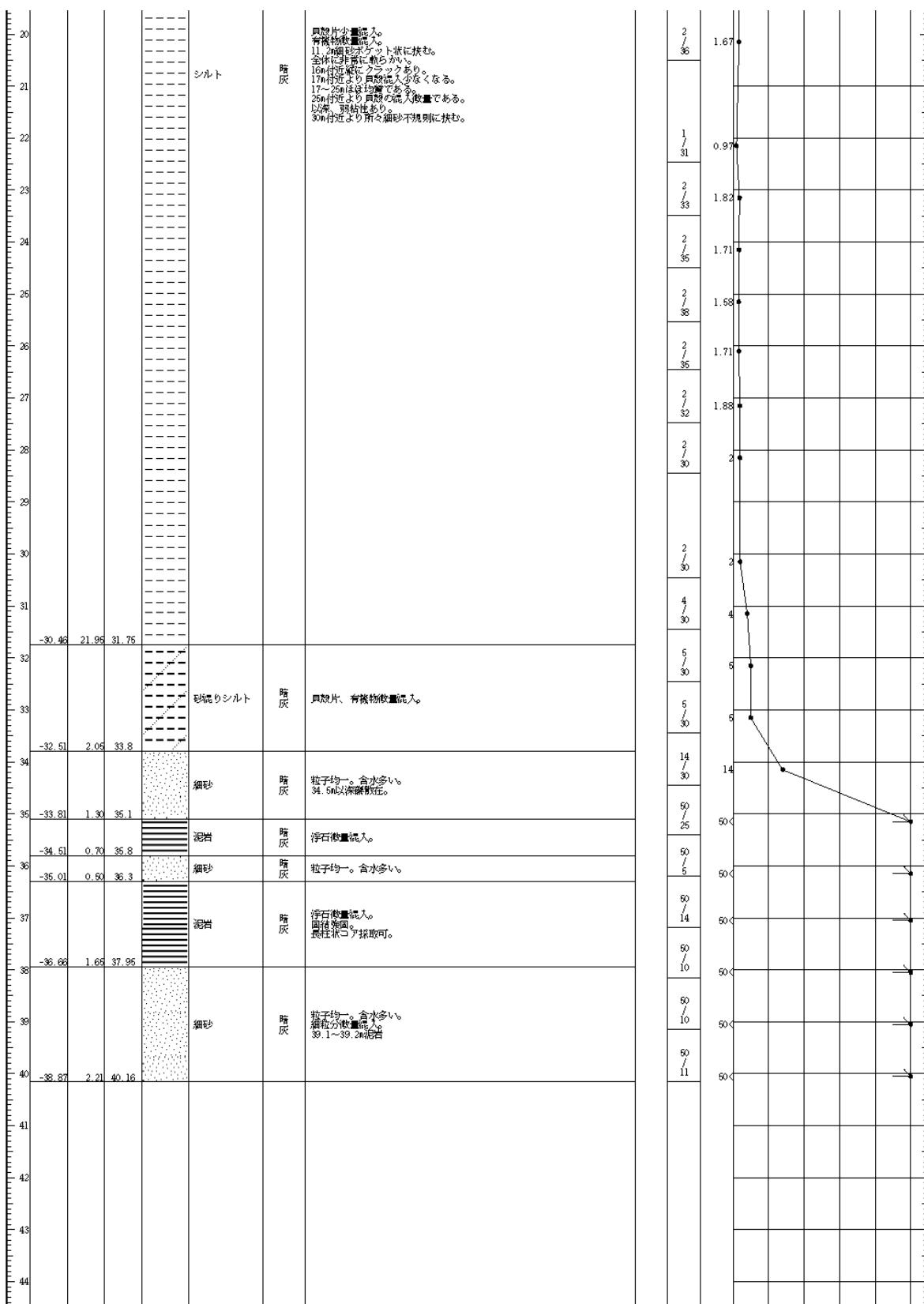
S = 1/5,000

0 50 100 150m

図 2(1) 対象事業実施区域周辺の地質調査地点 (既存資料調査地点)

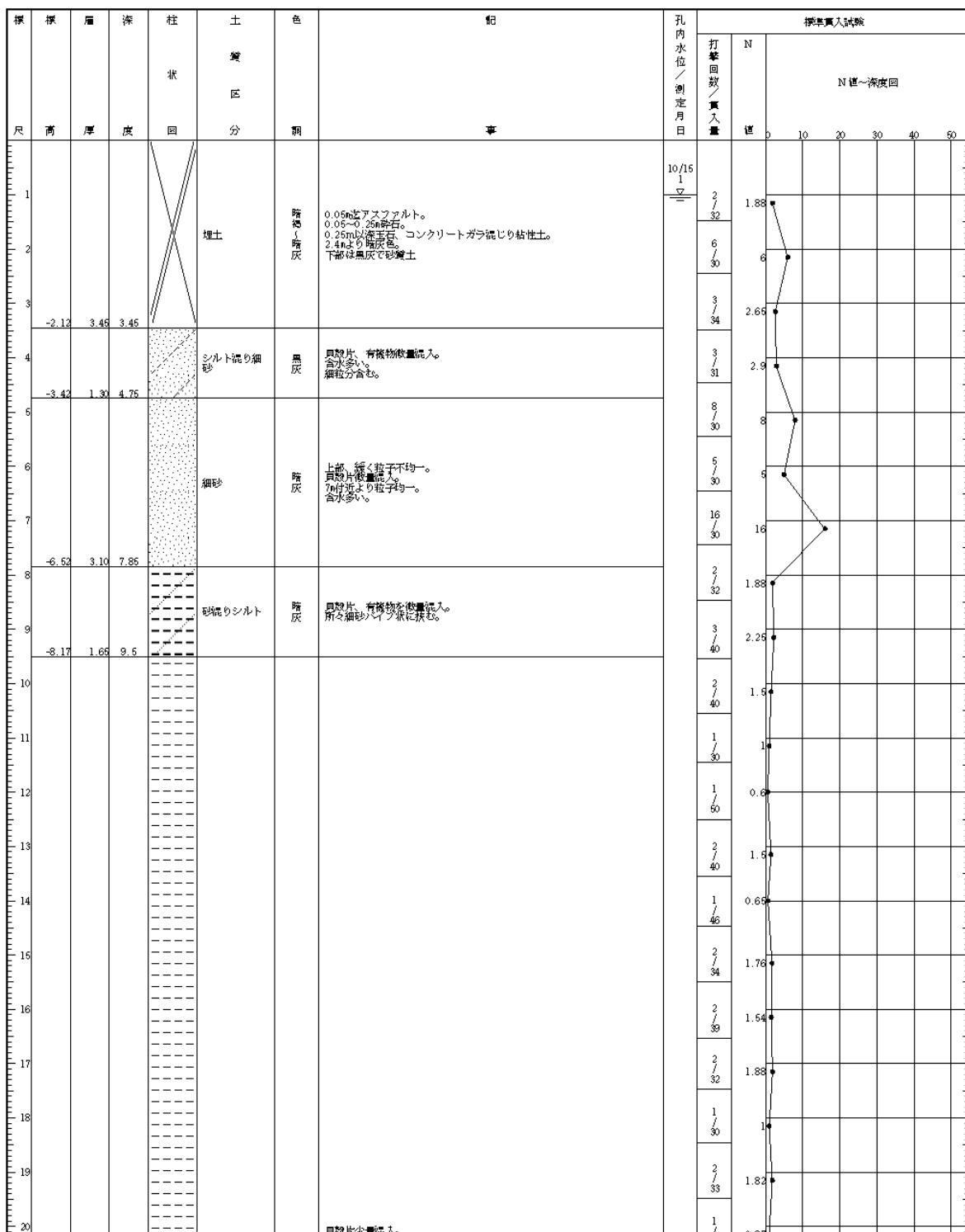
土質柱状図





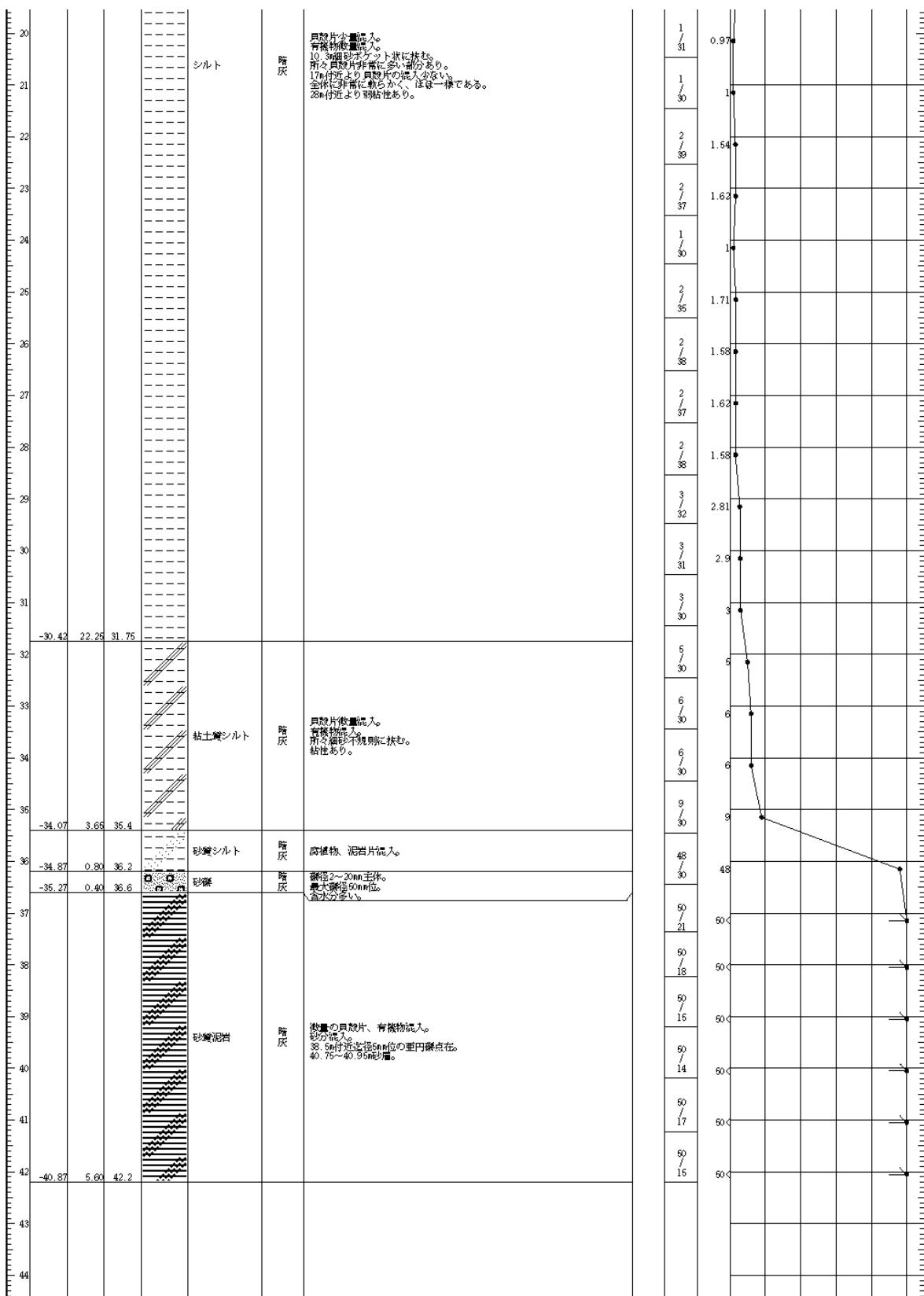
土質柱状図

ボーリング名	00446002	掘進長	42.2	孔口標高	1.33	孔内水位	1
--------	----------	-----	------	------	------	------	---



資料：「横浜市行政地図情報提供システム」（令和7年7月調べ、横浜市）

図2(4) 土質ボーリング柱状図（地点②）



資料：「横浜市行政地図情報提供システム」（令和7年7月調べ、横浜市）

図2(5) 土質ボーリング柱状図（地点②）